

## 保護者さまの声を紹介します。

最初はプログラミングに興味を持っている子だったので、スクラッチ以外のプログラミング言語にも触れてほしく受講を誘いました。Rubyの習得はもちろんですが、それ以上にその過程でのプログラミングや課題意識のある同世代の他校生とのつながりや、大学生や大学の先生方との交流でより広い世界を感じたりできたことが財産になったと思います。グループでの課題への取り組みでみんなで壁を乗り越える経験、2年目以降の後輩への関わりで誰かを支える経験も貴重なものとなりました。その経験があったからこそ更なる研究へと挑戦することもできましたし、学校生活でも生徒会で積極的に活動するようになりました。中学生の皆さんにはぜひ新しい世界への扉を開いてみてほしいと思います。

(受講当時：中1の母)



うまくいかない時でも諦めず、試行錯誤を重ねたり、大学生メンターからアドバイスをいただいたりしながら、粘り強く取り組む姿が見られました。発表を重ねる中で、人前で自分の意見をわかりやすく伝える力も成長したと感じます。大学の先生や仲間との交流は大きな刺激となり、学校だけでは得られない貴重な経験を積むことができ、参加して良かったと思います。

(受講当時：小5の母)

中学1年生から鳥海塾に参加し、2年生の時はジュニアメンターとして参加しています。参加してからは、ますますプログラミング関係に興味を持ち将来的にプログラミングやエンジニアの仕事に就きたいと勉強も頑張っています。いろんな人達と交流しながら考え方、やり方を相談しあって形にしていく過程は学校とはまた違いとても良い経験だなと感じております。

(受講当時：中3の母)

※メンター：授業をサポートする大学生

※ジュニアメンター：授業をサポートする鳥海塾の修了生（中高生）

### ■お問い合わせ・お申し込み先

998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 東北公益文科大学 地域共創センター事務室

電話 0234-41-1115(平日9:00~17:00) FAX 0234-31-2082 E-mail nml-entry@e.koeki-u.ac.jp